

2024年11月19日

格付投資情報センター（R&I）は以下の格付を公表しました。

## 東京大学（証券コード：－）

### 【維持】

発行体格付：AA+ [安定的]

債券格付：AA+

### 【格付理由】

1877年に日本で初めて設立された国立大学。文部科学省所管の国立大学法人であり、指定国立大学として日本の教育研究活動を先導する。研究力に優れた大学院は国内最多の学生数を擁し、法人全体でみた資産、収益面では国立大学法人の中で群を抜く存在となっている。教育政策上の極めて高い重要性に加え、東京大学自身の事業基盤の強さを評価に反映し、格付は日本ソブリンと同格としている。

大学を主とする高等教育機関は教育と研究、社会貢献に寄与する公共財として非常に重要な役割を果たす。とりわけ国立大学は高等教育の実行機関として政策上の重要性が極めて高い。国立大学の法人化以降、20年が経過した。この間に運営費交付金などの財政面のサポートは徐々に弱まったが、政府は国立大学に自律的な運営の確保を求め、各種施策や法律改正などを通じて後押ししてきた。政府との緊密な関係に変化は予想されず、国立大学法人は政府系機関の一角として強固な信用力を備える。

東京大学は海外でも広く知られる高等教育機関であり、3年後の2027年に創立150周年を迎える。官民両分野で中枢を担う優秀な人材を輩出し、名声を博してきた。受託研究や共同研究は件数・金額ともに年々増加基調にあり、産学連携で他大学に先行する。総長自ら企業トップと合意形成するなどの実績を上げ、社会課題の解決やイノベーションの創造を志向している。新産業の創出や社会変革を担う大学発ベンチャーの重要性は増しており、様々な支援を行っている。2023年度までに設立された東京大学関連ベンチャーは累計577社を数え、うち上場企業数は累計27社に達するなど顕著な成果を上げてきた。

附属病院は「特定機能病院」や「臨床研究中核病院」など各種の指定を受けて、国立大学法人の中でもトップクラスの規模を持ち、首都圏の高度医療に貢献する。2023年度は新型コロナウイルスの5類移行による補助金減少や診療経費・人件費などの増加により、前年度に比べ赤字が拡大した。効率的な病床運営や継続的な費用管理に努めているものの、医師の働き方改革を背景にした人件費の上昇が予想され経営環境は厳しい。引き続き収支状況を注視していく。

2021年に長期ビジョンを公表した。公共財として世界に貢献することを目標に、大学の成長モデル確立を掲げた。財務改革面では実務経験豊富な人材を相次いで学外から招き、CFO（最高財務責任者）、副CFO、CIO（最高投資責任者）を任命し、CFOオフィスを設置するなど組織体制を整えた。過去1年で資産運用の高度化を進め、2023年度はそれに見合った収益を上げている。経営基盤強化や自律的な経営に向けて体制・組織力の強化に努めている。営利企業とは異なる「公共を担う組織体」にふさわしい財務運営や調達・運用手法を確立できるか見守る。

東京大学は国際卓越研究大学（大学ファンド支援対象校）の第2回公募に向けて対応を検討している。認定要件の1つとして、外部の有識者を含む合議体の設置が求められている。一方、2023年の国立大学法人法の改正により東京大学は規模の大きな大学（特定国立大学法人）に分類され、重要案件の議決や法人の執行状況を監視する合議体（運営方針会議）の設置が義務付けられた。両方の要素を満たすには、多様性に配慮しながら、学内外から深い知見を有するメンバーを揃えることが必要になりそうだ。ガバナンス体制の一層の強化に向けた今後の動向を確認していく。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

## 【格付対象】

発行者：東京大学

## 【維持】

名称	格付	格付の方向性		
発行体格付	AA+	安定的		
名称	発行額	発行日	償還日	格付
第1回東京大学債券	200億円	2020年10月16日	2060年3月19日	AA+
第2回東京大学債券	100億円	2021年12月22日	2061年3月18日	AA+

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

## 信用格付に関わる事項

格付関係者	東京大学
主任格付アナリスト	喜多 総治郎
信用格付を付与した日	2024年11月19日
主要な格付方法	政府系機関等の格付の考え方 [2022/12/26]、事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2024/06/24]、学校法人 [2024/05/22]
情報提供者	格付関係者

利用した主要な情報	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
格付方法の概要	次のウェブサイト上に上記格付方法及び考慮した他の格付方法をともに掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html</a>
評価の前提	次のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html</a>
格付符号と定義	次のウェブサイトに掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html</a>

## 信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。

信用格付の付与について代表して責任を有する者	丸山 博哉
信用格付業者登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官(格付)第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画部(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。